

保護者の皆様

長久手市立長久手小学校長 森田浩基

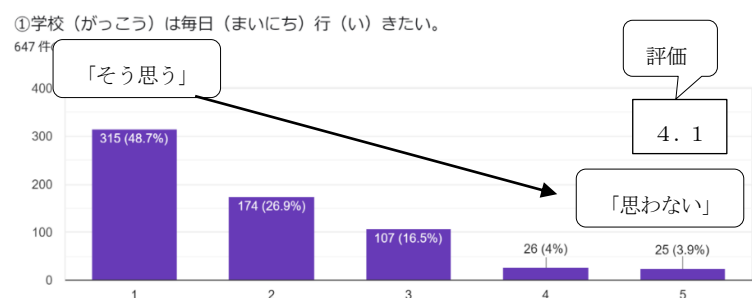
令和3年度 学校教育評価アンケート結果のお知らせ

平素は本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

学校評価は、学校教育法に定められており、学校に関わる方々が小学校の教育活動について評価を行い、その結果に基づき改善を図っていくためのものです。今年度は基本的な学校生活とコロナ対策に限定してアンケートを行いました。多数の方にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果をまとめましたので、お知らせします。

【グラフの見方】

- 発問の順に回答を棒グラフで表しました。同じ内容の項目ごとに児童・保護者の方を見比べることができるようになっています。
- 保護者アンケートは、左から「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまり思わない」「思わない」の順に並んでいます。



- 保護者・児童の評価については、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり思わない」を2点、「思わない」を1点として各回答数をかけ、合計した数を総回答数で割り数値で表します。全員が「そう思う」を選んだ場合は「5」、「思わない」を選んだ場合は「1」となります。中間の評価は「3」となります。（グラフ右の四角の中の数字は平均を表しており、これを評価としています。）

学校として、この数字ができるだけ大きくなるように、努力していきたいと思えます。

【評価について】

全体的には、児童は落ち着いて学校生活を送っており、様々な取組に意欲的に取り組んでいると感じているなど、自己評価が高いことがわかります。特に、「学校で使う物を大切に使う」「友達に親切にする」点で高い評価となっており、思いやりの心や公共心が育っていることがわかります。

本校の教育目標は「確かな学力をもち 心豊かでたくましい 健やかな子の育成」を達成することであり、「確かな学力の定着」「思いやりの心と感謝の心」「健康的な生活習慣」「安心・安全な学校づくり」の4点を、今年度も重点目標として取り組んできました。そこで重点目標に沿ってまとめました。

○ 「確かな学力の定着」について

基礎的な知識・技能の定着を図り、協働型解決学習を通して、主体的・対話的で深い学びができるように授業を行っています。コロナ禍において、体験学習や協働解決型学習が予定通りには行えませんでした。が、「授業は分かりやすく楽しい（グラフ③）」の項目では、児童「4.1」保護者「4.0」となっており、分かる授業・楽しい授業を目指した取組が効果を上げていることがわかります。「授業に進んで学習している（④）」の項目では、児童「4.0」保護者「3.8」となっており、積極的に学習に参加できる児童多いことがわかります。また、タブレット端末を利用した学習も「タブレットを正しく使うことができる（グラフ⑮）」の項目では、児童の評価は「4.7」となっており、自信

をもってタブレット端末を扱うことができていることがわかります。同じ項目での保護者の評価は「3.6」となっており、グラフから「どちらとも言えない」を選択された保護者が多いことがわかります。授業での使用方法を見ていただく機会を設定したり、情報を発信したりすることで、活用の状況がよりわかりやすくなるように努めていきます。

○ 「思いやりの心と感謝の心」について

道徳の教科化により自分の心を見つめる活動を充実させています。また、温かな学校、児童が安らぎを感じる学級づくりを目指し、児童との触れ合いを大切にしています。「友達に親切にし、いじめをしないように気をつけている(⑤)」項目において、「4」を上回る評価となり、互いに気持ちよく過ごそうとする児童が多いことが分かります。また、項目⑤「あまり思わない」「思わない」の割合が児童3.8%・保護者2.6%と低く、思いやりのある行動をとるように意識している児童が多いこと、また、それを周りの大人も感じていることがわかります。いじめを見逃さない体制づくりを学校全体で行っていますが、家庭との連携も今以上に取り組んでいきたいと思えます。

挨拶の励行につきましては、今年度も、児童会役員や生活委員、また、PTAとも連携して取り組んできました。ご家庭におかれましても今後も話題にさせていただけたらと思えます。(「家や学校で挨拶をしている(⑥)」参照)。

○ 「健康的な生活習慣」について

「早寝早起きをしている(⑦)」「デジタル機器を見過ぎたり、し過ぎたりしないようにしている(⑧)」の項目において、児童・保護者ともに、低い評価となっております。特に、項目⑧では、保護者の評価は「2.9」、「そう思わない」が25.1%となっております。しかし、児童のグラフでは「そう思う」児童が一番多い割合となっておりますが、保護者のグラフでは「あまり思わない」を選択した割合が一番多くなっています。児童と保護者で、時間の基準が違うことがわかります。児童の周囲には様々な電子機器が存在します。長時間使用することの身体への影響は、学校でも養護教諭を中心に指導していますが、家庭でのルール作りも大切です。また、健康的な生活習慣を身に付けるためには、家庭との連携が欠かせません。今後も、「生活リズム点検表」やミニ保健指導を通してより良い生活習慣を身に付けさせたいと考えています。ご家庭におかれましても、話し合っただけでよかったらと思えます。

○ 「安心・安全な学校づくり」について

登下校は家庭・地域と連携しながら、児童の安全面に注意を払ってきました。また、様々な場面を想定した避難訓練の取組を通して、非常時における安全行動の周知徹底を図っています。概ね高い評価となっており、成果を上げていることがわかります。今後も危険予知・危険回避の能力を身に付けさせ、安心・安全な学校づくりに努めていきます。

※ 全体としては、児童・保護者の評価の差はありますが、概ね教育活動に肯定的な評価をいただけているという結果となりました。保護者の方には温かく教育活動を見守っていただきありがとうございました。今後も、様々な問題に職員全体で対応し、さらに充実した取組になるように努めてまいります。これからも、「学校は毎日行きたいところである」と思う学校を目指して取り組みたいと思えます。

【記述でのご意見・ご要望等】

記述によるご意見・ご要望の欄には、課題や励ましなどのご意見をいただきました。ありがとうございました。どのご意見も、学校運営上、貴重な資料となりました。いただいたご意見は、担任や担当者にも内容を伝え、対応策を考えられることから逐次取り組んでまいります。今後ご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

(問い合わせ先) 長久手市立長久手小学校 教頭 柳川聖子

TEL: 0561-62-0002